

「指定 10 未治療症例評価による審査」を受けて

廣島 邦泰

～私が審査を受けた理由～

矯正臨床に携わって **12** 年目を迎えました。大学の歯科矯正学教室で **7** 年、その後三重県の地元で矯正専門医として開業し **5** 年目が経ちました。今も質の高い矯正治療を提供できるよう日々精進しています。振り返ってみますと、医局在籍時には同門会や医局員の先生方の歯科矯正に対する情熱に感銘し、また時に優しく時に厳しく指導いただいたおかげで、質の高い矯正治療を求め心や技術を学ぶことができました。今の私の矯正臨床の基礎となっています。開業してからは、自分の力を維持、向上させたい一心で、矯正研究会に入会させていただきました。そこでまたすばらしい先生方と出会い、自分を戒めることができました。今の私があるのは、今までに出会った数々の先生方のアドバイスのおかげです。感謝しております。

さて、最近看板や電話帳などで〇〇専門医、〇〇認定医という言葉をよく見かけます。私自身は日本矯正歯科学会認定医の資格を持ちますが、開業して **5** 年間「先生は認定医ですか」とか「専門医ですか」と患者さんから聞かれたことはありません。歯科医師の認定医や専門医制度は、まだ一般にはほとんど認知されていないようです。

ではなぜ今回、日本矯正歯科協会の「指定 **10** 未治療症例評価による審査」を受けているのか。それは、自分に自信を持ちたいからです。先にも述べましたが、今まで数々の先生方の教えの元に今の私があります。その先生方に早く追いつきたい、認めていただきたいという思いです。**100** 症例まで程遠い私へのチャンスであるという思いです。

今回はこのような思いの中、私の受けている「指定 **10** 未治療症例評価による審査」の状況をお伝えするとともに、苦労したこと、学んだことを述べさせていただきます。若輩者の私の話ですが、正直にお話しいたします。

「指定 **10** 未治療症例評価による審査」の経過

2005 年 9 月 29 日	提示した 12 症例中 10 症例の選考
2006 年 6 月 25 ・ 26 日	第 1 回目 10 症例のプログレス資料提示
2007 年 5 月 27 日	第 2 回目 10 症例のプログレス資料提示
2007 年 10 月 4 日	10 症例中 3 症例の提示と面接
2008 年 10 月	最終審査予定

廣島 邦泰（ひろしまくにやす）先生

アイウエオ矯正歯科医院（伊賀市）院長